

# ハイテク推進セミナー

## プラスチックの健全な発展に向けて ～プラスチックの正しい使われ方と企業のSDGs～

日時

令和3年  
**10月29日(金)**  
10:00～17:00  
定員: **40名**

会場

**サラヤメディカル  
トレーニングセンター  
(SMTC)**  
本町ガーデンシティ4階  
〒541-0053 大阪市中央区本町3-6-4  
(地下鉄「本町」駅 7号出口直結)

- 申込方法: (一社)生産技術振興協会 のウェブサイト
- 参加費: 一般、会員6,000円(税込)、教員、名誉教授3,000円(税込)、学生1,000円(税込)

講演1 今、プラスチックに求められること **宇山 浩**  
～プラスチックリサイクル、バイオプラスチック、海洋プラスチックごみ問題～  
(大阪大学、コーディネーター)

講演2 プラスチックによる海洋汚染の現状 **島村 道代**  
(海洋研究開発機構)


講演3 漂着物調査から見た海洋プラスチックの課題 **千葉 知世**  
(大阪府立大学、(一社)KATIES)

講演4 マイクロプラスチック課題を俯瞰する解決志向性リスクアセスメント **藤井 健吉**  
(花王(株) 安全性化学研究所)


講演5 日本のプラスチックごみの実態と課題について **寺井 正幸**  
(ごみの学校主催、横浜田)


講演6 花王のプラスチック資源循環の取り組み **南部 博美**  
(花王(株) リサイクル科学研究センター)

## 講師紹介（講演順）


	今、プラスチックに求められること ~プラスチックリサイクル、バイオプラスチック、海洋プラスチックごみ問題~	
	宇山 浩氏	Hiroshi UYAMA 1962年5月生 1987年 京都大学大学院工学研究科博士前期課程修了 同年 花王株式会社研究員 1988年 東北大学工学部助手 2000年 京都大学大学院工学研究科助教授 2004年 大阪大学大学院工学研究科教授

	プラスチックによる海洋汚染の現状	
	島村 道代氏	Michiyo SHIMAMURA 2006年3月 北海道大学大学院 地球環境科学研究科 修了、博士(地球環境科学) 2006年4月 大韓民国 韓国海洋研究院 博士研究員 2009年1月 北海道大学 大学院理学研究院 博士研究員 2010年9月 産業技術総合研究所 地質情報部門 特別研究員 2014年2月 北海道大学 高等教育推進機構 特任准教授 2016年6月 海洋研究開発機構 イノベーション推進本部 調査役 2019年4月 同 経営企画部 調査役

	漂着物調査から見た海洋プラスチックの課題	
	千葉 知世氏	Tomoyo CHIBA 1985年5月生 2012年 日本学術振興会特別研究員DC2 2014年 兵庫県立大学淡路緑景観キャンパス 客員教員(非常勤) 2014年 京都大学大学院地球環境学 博士課程修了 2016年 阪南大学経済学部 准教授 2020年 大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 准教授 博士(地球環境学)

	マイクロプラスチック課題を俯瞰する解決志向性リスクアセスメント	
	藤井 健吉氏	Kenkichi FUJII 1975年 4月生 北海道大学大学院医学研究科博士課程修了, 助教を経て 花王株式会社 研究開発部門 安全性科学研究所 兼 リサイクル科学研究センター 兼 衛生科学研究センター レギュラトリーサイエンス戦略室長 博士(医学) リスク学、医化学、安全性評価、国際規制

	日本のプラスチックごみの実態と課題について	
	寺井 正幸氏	Masayuki TERAII 1990年 7月生 グロービス経営大学院大学 経営研究科・2021年3月卒業 株式会社浜田 経営企画室 経営企画グループ 課長 経営学修士

	花王のプラスチック資源循環の取り組み	
	南部 博美氏	Hiromi NANBU 1963年 6月生 岡山大学工学部工業化学科 1988年 花王株式会社 研究開発部門 リサイクル科学研究センター、兼 包装技術研究所 リサイクル科学研究センター長、兼 包装技術研究所副所長 工学修士 有機化学、高分子化学、化粧品、知財

## ■ハイテク推進セミナー プラスチックの健全な発展に向けて ~プラスチックの正しい使い方と企業のSDGs~

司 会：一般社団法人 生産技術振興協会 異 昭夫

10:00~10:10

開会の挨拶

事業企画委員長 今中 信人

10:10~11:00

講演1 今、プラスチックに求められること ~プラスチックリサイクル、バイオプラスチック、海洋プラスチックごみ問題~

宇山 浩 (大阪大学大学院工学研究科 教授)

プラスチックは安価、軽量、丈夫で腐らないという特徴を活かして幅広い分野で利用されてきましたが、自然環境中で分解されにくく、海洋汚染を含む様々な環境問題を引き起こしています。そのため、プラスチックリサイクルの推進が世界的に求められています。一方でコロナ禍においては安全・安心に食品を提供できるプラスチックの役割が再認識されています。このように便利で日常生活に欠かすことのできないプラスチックとどのように共生し、プラスチックごみのない海を取り戻すために我々は今後、何をすべきか。プラスチックの現状を社会的な視点から見つめなおし、プラスチックリサイクルの現状と課題、バイオプラスチックの開発状況、海洋プラスチック問題を概説します。

11:00~11:50

講演2 プラスチックによる海洋汚染の現状

島村 道代 (海洋研究開発機構 経営企画部 調査役)

近年、人類によって海洋に排出されたプラスチックごみの問題が広く知られるようになった。特に5mm以下のマイクロプラスチックと呼ばれるプラスチック小片の生態系、ひいては人類への影響が懸念されている。欧州や米国の一部における使い捨てプラスチック規制を皮切りとし、G20大阪首脳宣言でも本問題について言及され、世界各国でシングルユース・プラスチックの削減や規制のムーブメントが広がっている。本講演では未来のプラスチックと社会のあり方を考えるため、科学的エビデンスに基づく本問題について述べ、問題解決の鍵や循環型社会を含む私たちの“選択肢”について会場の皆さんと議論する。

11:50~13:10

休憩 昼食会

13:10~14:00

講演3 漂着物調査から見た海洋プラスチックの課題

千葉 知世 (大阪府大)

海洋プラスチックごみ問題に対しては、プラスチックの使用削減、流出抑制、代替素材開発など、様々なアプローチが試みられています。問題の改善のためには複合的なアプローチが必要ですが、本報告では、中でも海洋ごみ削減に直接的効果が期待できる「海岸漂着物回収」に焦点を置き、海洋プラスチック問題を考えます。報告者が実施してきた海岸漂着物調査では、漂着物による海岸環境への悪影響に加え、回収自体の困難さ、回収・処理にかかる費用負担、回収した後の行き先など、様々な社会的課題が見えてきました。それらをご紹介しながら、海洋プラスチックとの向き合い方について多面的に考察してみたいと思います。

14:00~14:50

講演4 マイクロプラスチック課題を俯瞰する解決志向性リスクアセスメント

藤井 健吉 (花王安全性化学研究所)

海洋プラスチックごみ問題は地球規模の課題となっており、真の解決にむけた取り組みを選択し、世界全体で推進することが求められている。本講演では、環境とヒト健康のリスク評価の観点から、海洋に排出されるプラスチックの排出源プロファイリング、環境影響の評価指標選択、海洋マイクロプラスチック環境運命、定量的リスクアセスメントの考え方を概説する。また、リスク評価を軸とする科学的視座が指し示す羅針盤、本課題に対する解決志向性リスクガバナンスの可能性について対話したい。

14:50~15:10

休憩

15:10~16:00

講演5 日本のプラスチックごみの実態と課題について

寺井 正幸 (ごみの学校主催、(株)浜田に勤務)

日本は世界有数のプラスチックごみ発生国であると言われている。その一方で、世界各国と比較して、廃プラスチックが焼却処理されている割合が高く、廃棄後に思うように有効活用できていないという実態がある。世界中でプラスチックのリサイクルが求められている中で、日本ではどのような対策を取るべきなのかは非常に重要な論点となっている。本講演では、日本のプラスチックリサイクルの課題について、日本の廃棄物処理業者の現場での実態や技術的な課題を明らかにしながら、今後の循環利用の在り方について解説を行う。

16:00~16:50

講演6 花王のプラスチック資源循環の取り組み

南部 博美 (花王(株) リサイクル科学研究センター)

プラスチック包装容器、紙おむつを始めとしてプラスチック材料は、花王製品において重要な役割を果たしている。しかしながら、昨今ではプラスチックゴミ問題や焼却によるCO2排出などの環境影響は、地球規模で取り組むべき喫緊の課題である。花王は、以前より、その過剰使用が、地球環境にとって懸念であることを認識し、プラスチック資源の削減に努めています。ESG戦略とその目標に沿ったプラスチック資源削減・再利用、リサイクル及び、海洋プラスチック削減に向けた取り組みの現状と、今後の展望について発表する。

16:50~17:00

総括

宇山 浩 先生(コーディネーター)

17:00~17:10

閉会の挨拶

更家 悠介(サラヤ(株) 代表取締役社長)

# プラスチックの健全な発展に向けて ～プラスチックの正しい使い方と企業のSDGs～

海洋プラスチックごみ問題、脱炭素社会、サーキュラエコノミー等の社会課題に端を発する脱プラスチック化に向けた行政・小売業・消費者の動向を把握し、併せて企業のSDGsの在り方を考えます。

このセミナーを通じて我々の日常生活や生産活動におけるプラスチックの役割を考え、プラスチック問題に携わる様々な切り口からプラスチックへの理解を深め、我々のライフスタイルの変革と企業のSDGsへの貢献を探ります。

## < 開催概要 >

日 時：令和3年10月29日(金) 10:00～17:00

会 場：サラヤメディカルトレーニングセンター  
(SMTC) 本町ガーデンシティ 4 階  
〒541-0053 大阪府中央区本町 3-6-4  
(地下鉄「本町」駅 7号出口直結)

主 催：一般社団法人 生産技術振興協会

共 催：一般社団法人 大阪大学工業会

後 援：大阪商工会議所

参加費：一般、会員…………… 6,000円(税込)

教員、名誉教授… 3,000円(税込)

学生…………… 1,000円(税込)

定 員：40名 (先着順)

申込み：10月25日(月)までに下記の参加申込書を  
FAX(06-6944-0605)にてお送りください。

## ハイテック推進セミナー(令和3年10月29日)参加申込書

会社・団体名			
所在地	〒 -		
氏 名		部署・役職名	
電話番号	- -	ファックス番号	- -
メールアドレス			

(一社) 生産技術振興協会 宛 (FAX: 06-6944-0605)